

新環境センターニュース Vol. 4

令和3年4月発行 大分都市広域圏推進会議 一般廃棄物処理施設整備部会
 (問い合わせ先: 大分市環境部清掃施設課 097-537-5659)

新環境センターは令和9年度稼働開始を目指しています

新環境センター環境影響評価に係る現地調査を実施しています

施設を建設するにあたって、周辺環境への影響を事前に調査・予測・評価するための「環境影響評価手続」を実施しています。
 この手続を実施することで、より環境に配慮した施設を建設するための計画を作り上げていきます。
 現在、手続の中の「実施計画書」を作成し、現地調査実施予定の項目(右記参照)や調査内容などをまとめています。

測定や現地調査などを行う項目(抜粋)

- 大気質
- 騒音
- 振動
- 水質
- 地域交通
- 悪臭
- 生態系
- 景観
- など

現地調査全体期間

令和3年2月中旬から開始しており、令和4年3月末まで実施予定

※ 個別の調査項目によって調査期間は異なります

具体的な内容(一部)



大気質

□ 調査の目的

新環境センターの操業や搬入搬出車両等の通行に伴う排出・排気ガスの影響を予測するために、現状の化学物質の濃度及び気象データを収集するため。

□ 調査の期間・回数

大気質・気象：四季ごとに1週間程度(地上気象は1年間)
 道路交通状況：平日、休日のそれぞれ1日間(24時間)

□ 調査の目的

新環境センター建設工事に伴う濁水やセンターの操業による周辺の井戸や川などへの影響を把握するため。

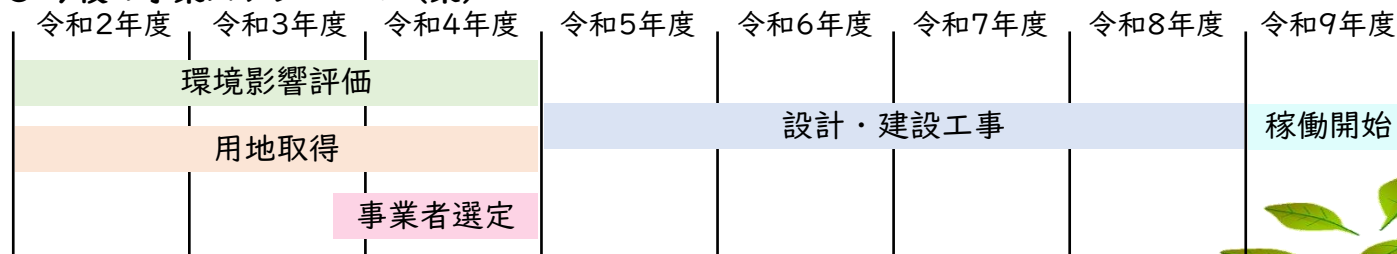
□ 調査の期間・回数

河川やため池、地下水(井戸)などを調査期間内に1~4回(調査の場所や対象によって異なります)

水質



◎ 今後の事業スケジュール(案)



「ごみを減らそう」ってよく聞くけど、どうやって減らせばいいの??



ごみを減らすためには「4 R」に取り組みましょう。
「4 R」とは、リフューズ・リデュース・リユース・リサイクルの頭文字をとったものです。

4 Rの取組を実践していくことで、ごみを減らすことができます。



Refuse (リフューズ) = 発生回避



ごみになる物を使用しない・受け取らないことで、ごみになることを**防ぐ**ことができます

Reduce (リデュース) = 発生抑制



生ごみの水切りや詰め替え商品を利用することで、ごみになる物を**減らす**ことができます

フォーアール 4 R

Reuse (リユース) = 再使用



まだ使える物は捨てずに、フリーマーケットなどを活用すると、**繰り返し使用**することができます

Recycle (リサイクル) = 再資源化



正しく分別することで、「ごみ」ではなく、**再び「資源」**として活用することができます

新環境センターでは、大分市・臼杵市・由布市の皆様に分別いただいた物の再資源化処理を行います。
なお、津久見市・竹田市・豊後大野市は、既存施設の活用や民間委託等により適正に処理します。

ごみの減量に向けて6市が協力して4 R推進の取組を進めています

⇒ 今回のまとめ

- より環境に配慮した施設を建設するための環境影響評価手続を実施していて、新環境センター建設に伴う影響を予測するため、現地にて様々な調査を行います。
- ごみ減量のための合言葉は「4 R (フォーアール)」!! 一人ひとりができることをして、ごみを減らしていきましょう。

